



より密接な地域医療連携をめざして

# 地域医療連携室

Office of Community

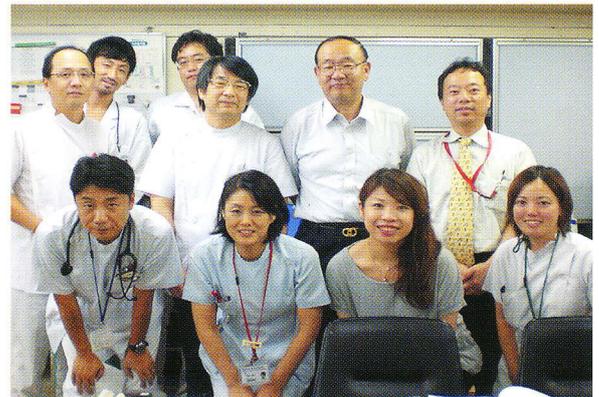
だより

VOL. 2

## リウマチ外来がスタートしました！ ～関節の腫れ・痛みに応えます～

整形外科 小島 康宣

平成22年10月1日から、整形外科外来の一部を改修して新しくリウマチ外来を開設いたしました。リウマチ外来では内科医と整形外科医が常勤して、関節の痛みや腫れを訴える患者さんに的確な診断と最善の治療を目指しております。



当外来で対象となる疾患は関節リウマチ、変形性関節症の他、全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎、皮膚筋炎、混合性結合組織病、痛風、強直性脊椎炎、乾癬などの膠原病および膠原病類似疾患です。

その中でも関節リウマチの治療は、近年の新しい治療薬や人工関節などにより長足の進歩を遂げつつあります。またリウマチ治療の進歩を背景にして、早期診断や早期治療による寛解への導入、維持が強く求められるようになりました。このような要請に応えるためには、今まで以上に整形外科医と膠原病内科医で緊密な連携をとり、関節炎診療を積極的に進めていくことが必要とされます。また、進化するリウマチ治療を広く普及させるために、現在外来のスタッフが中心となり定期的に開催している学内でのリウマチ教室や、地域連携の実践が不可欠です。

先生方には診断に難渋する症例、MTX・生物学的製剤の導入や薬物調整が必要であるが有害事象が懸念される症例、滑膜切除手術・人工関節手術や機能再建手術が必要な症例については当外来にご紹介いただき、また当外来から薬物療法の維持等での逆紹介の受け入れをお願いすることもあるかと存じます。

リウマチ外来の役割は、学内のみならず地域医療に携わる先生方との連携を密にして関節炎に対する最善の治療を提供することであると考え、スタッフ一同力を合わせご期待に沿うように努力いたします所存です。今後ともご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### ■診療日、担当医師

		月	火	水	木	金
内科系	午前	藤本 隆	赤井靖宏	藤本 隆	—	藤本 隆
	午後	藤本 隆	—	藤本 隆	山田秀樹 (非常勤医師)	新名直樹 第2、4週 (非常勤医師)
外科系	午前	田中康仁	—	小島康宣	—	—
	午後	原 良太	—	—	—	—

### 目 次

- リウマチ外来の開設について
- 前方連携
- 後方連携
- 第4回地域医療連携懇話会開催報告

## 前方連携

平成21年10月に初診紹介患者の予約診療を全診療科で本格実施してから、約1年が経過しました。その間、紹介患者さんの約6割にこのシステムをご利用いただいております。患者さんには待ち時間が短縮され、大変喜んでいただいております。患者サービスの向上と病病・病診連携を一層推進するため、今後も予約診療をご利用いただきますようお願いいたします。

予約診療をご利用いただいた患者さんからの声（待ち時間アンケートより）

- ・早く終わり、疲れなくて良かった。
- ・このようなシステムはとても良いが、知らない人も多いと思うので、もっと皆が利用できるようになって欲しい。
- ・待ち時間はかかったが、予約なしだともっとかかったと思うし、紹介状ももらっていたので良かったと思う。
- ・県外からの受診だったが、予約があったので安心できた。

などのご好評の回答をいただきました。今後もより多くの方々にこのシステムを使っていただきますよう、かかりつけ医の先生方の協力を引き続きお願いします。

患者さんの基本情報は  
もれなくご記入ください

### 予約システムの特徴

- 目的に合った専門医の診察を受けることができます
- 事前に情報をいただきカルテを準備しているため、受診に必要な事務手続きが簡略化されます
- 予約を取得することで、待ち時間が短縮されます



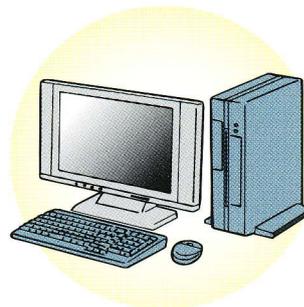
平成22年10月よりリウマチ外来の予約を受け付けております。依頼用紙等ホームページ (<http://www.naramed-u.ac.jp/~chiiki/>) でダウンロードできますので、ご利用ください。

### インターネット予約のご案内

夜間診療時間帯の初診紹介予約に対応するため、平成22年5月からインターネット予約のトライアル実施をしております。安全性を確認しながら段階的に進めており、安全が確保されましたら全診療科で開始する予定です。（事前にユーザー登録が必要となりますので、地域医療連携室までお問い合わせください。）

トライアル実施診療科（平成22年12月現在）

- ・消化器・内分泌代謝内科
- ・脳神経外科
- ・産婦人科
- ・耳鼻咽喉科・甲状腺外科
- ・皮膚科、形成外科



ご紹介いただいた先生方へ

予約で受診された患者さんの返書の推進を行っております。返書の不備等がありましたら、地域医療連携室までお問い合わせください。

## 後方連携

～「脳卒中地域連携パス」「透析サテライト連携」  
「インターフェロン地域連携パス」を開始～

### ☆脳卒中地域連携パス

近畿厚生局の認可を得て、平成22年9月から本格的に運用を開始しました。

【インターネットを利用して患者情報を共有】

急性期病院

《当院》

回復期・維持期病院

《連携病院》

退院

### 連携病院

山の辺病院、西大和リハビリテーション病院、奈良県総合リハビリテーションセンター、  
平成記念病院、阪奈中央病院、辻村病院、奈良医療センター

連携パスへの参加は歓迎です。回復期および維持期病院として参加を希望される場合は、当院地域医療連携室にご連絡ください。

### ☆透析施設サテライト連携 <透析施設情報提供支援>

当院で、血液透析の導入を行った患者さんに対し、維持透析施設の情報を提供し、事前に通院予定施設を選定していただくための支援を行っています。

このことによって、安心して通院していただくことが可能となります。

・紹介件数：59件（平成22年4月～12月）

### ☆インターフェロン地域連携パス

当院消化器・内分泌代謝内科において、C型肝炎の「インターフェロン治療」を、地域のかかりつけ医の先生との連携により《インターフェロン地域連携パス》として、平成22年8月から実施しています。

この連携パスは、患者さん毎に《治療日誌》が作成されており、地域のかかりつけ医の先生と当院の医師が治療経過を共有することで、患者さんが安心して医療を受けることができます。

連携パスが円滑に実施できますよう、地域の先生方のご協力をお願い致します。



# 第4回 地域医療連携懇話会 開催報告

平成22年10月23日(土)午後2時30分より奈良県立医科大学厳櫃会館にて、第4回地域医療連携懇話会を開催いたしました。地域医療機関の先生をはじめ、看護師、事務、ソーシャルワーカー等、地域医療に関心をお持ちの方々、84名のご参加をいただきました。

懇話会は二部制で実施され、第一部は、今村 知明教授(奈良県立医科大学 健康政策医学講座)を講師に招き「医療を取り巻く社会環境とその現状と課題」の演題で基調講演をいただきました。

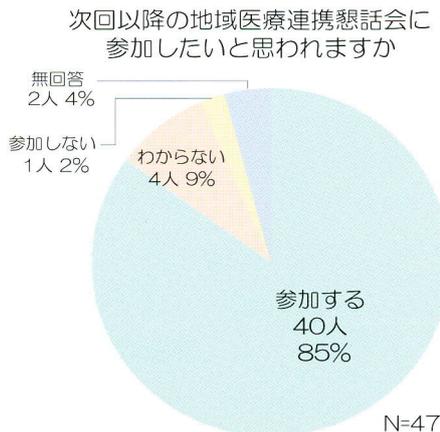
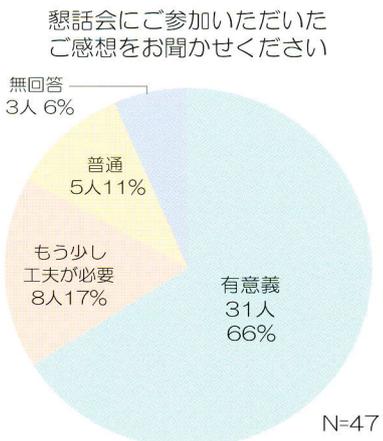
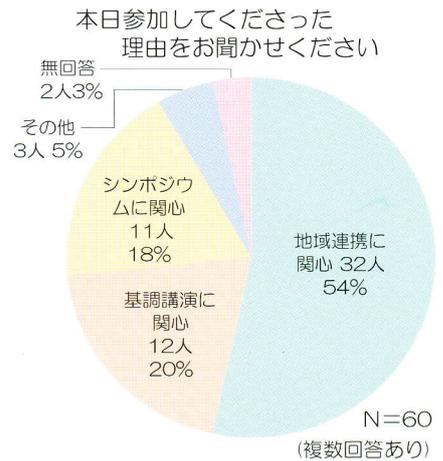
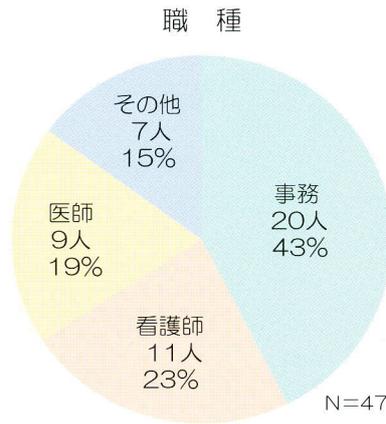
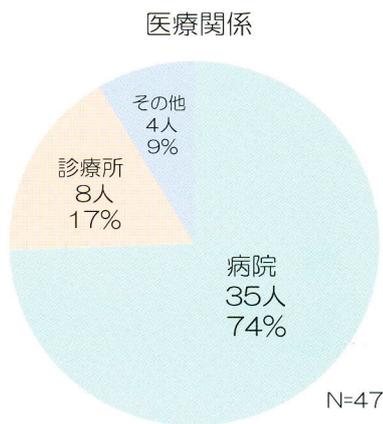
第二部はシンポジウム形式で「奈良県の地域医療連携の現状・課題・展望」をテーマに、武末文男氏(奈良県医療政策部長)、塩見 俊次氏(奈良県医師会会長)、松村 眞昭氏(市立奈良病院 地域医療連携室課長)、大塚 貴司氏(奈良県総合リハビリテーションセンター 医事相談係)、大名 美記子氏(当院 地域医療連携室長補佐)の5名で、今後の地域医療連携を進めるうえでの貴重な発表・議論が行われました。

今後は年2回の開催を計画しており、「第5回地域医療連携懇話会」は平成23年3月19日(土)厳櫃会館にて「(仮)がんの地域医療連携パス」をテーマに開催を予定しております。多数の参加をお待ちしております。

## 第4回 地域医療連携懇話会



## —— 第4回 地域医療連携懇話会アンケートより ——



**アンケートより**

- ・非常にタイムリーなテーマだと思う
- ・定期的なディスカッションが必要
- ・各立場からの意見が聞けて良かった
- ・病診連携の必要性を感じた
- ・医療から介護まで社会背景も含めた内容とスムーズな口調でわかりやすかった
- ・在宅医療に対する取組み、在宅医療の実状についてもテーマにとりあげてほしい
- ・課題が浮き彫りになり、これからどのようにしていくべきか考えさせられた